

北海道博物館 と 北海道開拓の村

特別展『「^{さる}沙流川に生きる—サルンクルの近代」
令和8年度アイヌ工芸品展』

■期 日	令和8年7月26日（日）	
■場 所	北海道博物館（札幌市厚別区小野幌53-2） 北海道開拓の村（札幌市厚別区小野幌50-1）	
■日 程	8時20分	役場前 発
	30分	旧都小学校前（歩道）
	10時00分	北海道博物館 着 特別展・館内常設展見学
	12時00分	“ 発
	12時10分	北海道開拓の村着：昼食後自由見学
	15時10分	“ 発
	16時40分	旧都小学校前（歩道）
	16時50分	役場前 着・解散



※参加者の状況によりバスの乗降場所は考慮しますので、ご相談ください。

<北海道博物館について>

野幌森林公園内にたたずむ、北海道の自然・歴史・文化を紹介する総合博物館。旧北海道開拓記念館と旧道立アイヌ民族文化研究センターを統合し、2015年に開設されました。

<北海道開拓の村について>

明治から昭和初期にかけて建築された北海道各地の歴史的建造物を、野幌森林公園内の54.2ヘクタールの敷地に移築し復元した、野外博物館。「市街地群」「漁村群」「農村群」「山村群」のエリアに分かれ、開拓時代の人々暮らしや生活文化を体感的に理解できる施設です。

■対 象 全村民（募集人員23名） ※10名以下の場合は中止とします

※定員を超えた場合は家族単位での先着としますので、あらかじめご了承ください。

■費 用 観覧料：65歳以上・中学生以下無料、一般2,200円、高大生1,200円

※いずれの料金も団体料金（10名以上）。当日のバスの中で集めます。

※交通費はかかりません。

※昼食代は含まれていません。現地で実費負担となります。

○65歳以上の方は年齢証明書（マイナンバーカード、免許証等）が必要です。忘れずに持参してください。

■申 込 7月3日（金） 〆切

教育委員会へ電話（☎48-6281 担当：佐藤）でお申込みください。

※〆切を過ぎての申込みはできませんので、ご注意ください。

※申し込みの際は、お名前、バス乗降場所、年齢、連絡電話番号をお伝えください。

北海道博物館第12回特別展・令和8年度アイヌ工芸品展

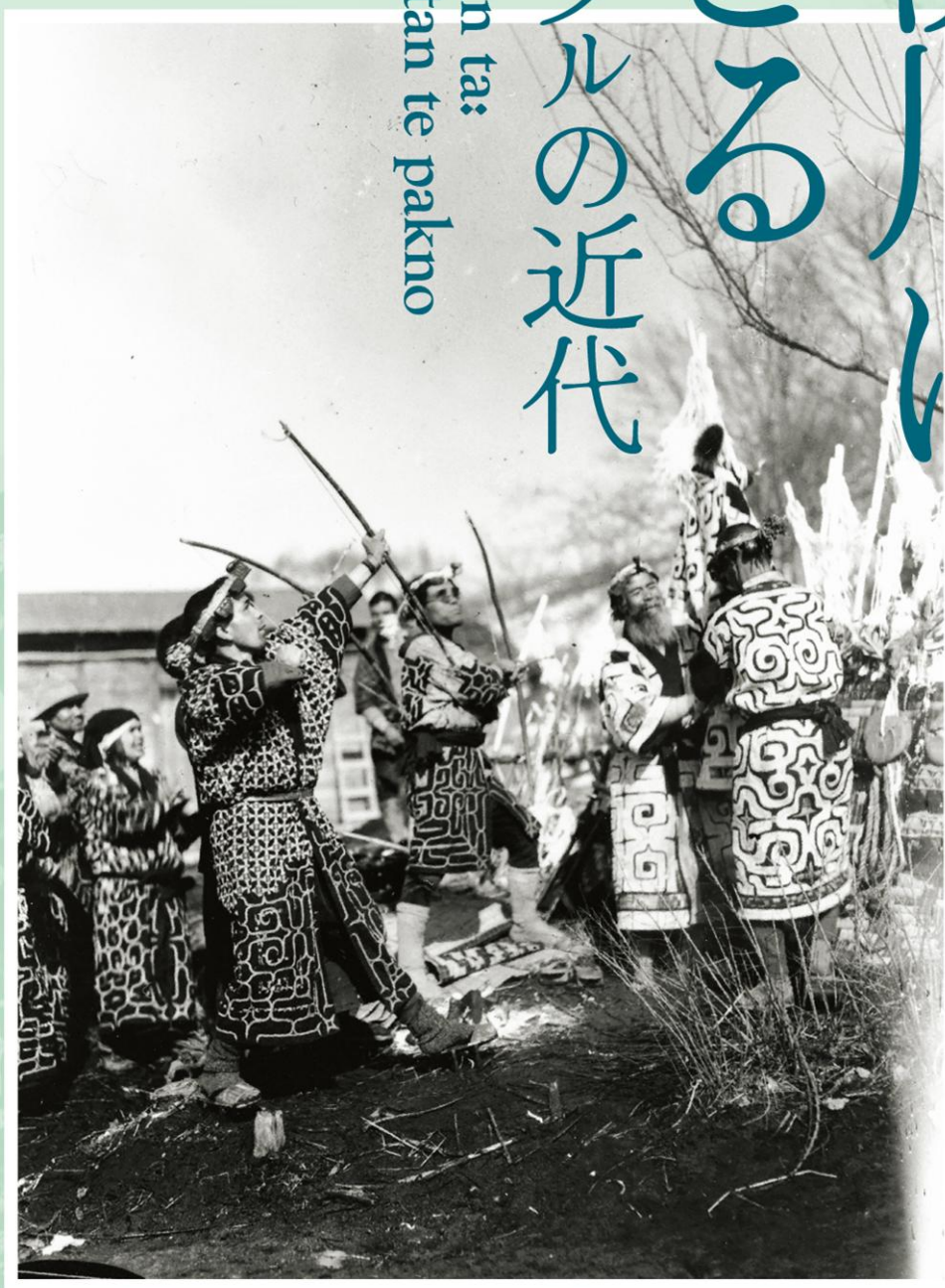
沙流川に 生きる サルンクルの近代

Nupursar kotan ta:
sinirit orwano tan te pakno

2026 **7.11** (Sat) → **9.6** (Sun)

開館時間：午前9時30分—午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：月曜日(7/20は除く)、7/21(火)
※会期中に一部資料の入れ替えがあります。

北海道博物館



1936年に札幌市で撮影された「サルスル川」のアイヌの儀式の様子を写した写真。北海道博物館蔵。

Living along the Saru River-
Ainu Lives from Ancestral Times to the Present



当館HP



特別展HP

【観覧料】一般1,000円(850円)／高校生・大学生350円(250円)／総合展示室セット券 一般1,600円(1,400円)、高校生・大学生600円(400円)

※()内は次の料金です。・10名以上の団体・本展割引券をお持ちの方・リピーター割引(本展の有料観覧券半券提示で、1枚につきおひとり様1回限り有効) ※中学生以下・65歳以上の方・障がいのある方は無料。高校生に限り土曜は無料(年齢のわかるもの、障がい者手帳をご提示ください)

【会場】〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2 TEL 011-898-0466 (総合案内) <https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/>

【主催】北海道博物館、公益財団法人アイヌ民族文化財団、国立民族学博物館

【協力】荻野茂二風谷アイヌ資料館、平取町立二風谷アイヌ文化博物館、沙流川歴史館、北海道大学北方生物園フィールド科学センター植物園、国立アイヌ民族博物館、市立函館博物館

【後援】公益社団法人北海道アイヌ協会、国土交通省、北海道教育委員会

※道外会場：国立民族学博物館(大阪府吹田市) 2026年9月25日(金)～12月15日(火) | 文化庁・北海道補助事業 |

*沙流川流域に「ナナアイヌ民族を、アイヌ語でサルンクル sarunkur」と言います。Nupursar kotan ヌプサコタンは、沙流川流域のアイヌ民族が自らの郷土を言い表した美称のひとつで、「霊力のある／神聖なる沙流川流域の集落」を意味します。


北海道博物館
HOKKAIDO MUSEUM